



— 令和7年鎌ヶ谷市議会定例会 令和7年9月会議 —

北初富駅前広場整備による物件補償費などの 補正予算を含む議案を可決

9月会議は、令和6年度決算の認定について審議しました。決算の状況は、新鎌ヶ谷地区のにぎわいの創出や魅力あるまちづくりに向けた企業誘致の実施や子育て世代の支援として、新たに小学校1年生の学校給食費無償化の実施など、芝田市長の公約事業などに取り組まれる中、本市の中期財政見通しで想定されている17億円を上回る実質収支が確保されました。

また、市長から提出された議案等26件、議員から提出した発議案1件を可決しましたが、特に補正予算では、北初富駅前広場を整備するための用地購入に係る物件補償について、物価高騰等の影響により追加の予算が計上されました。

令和6年度 鎌ヶ谷市一般会計決算について

●決算状況の概要(一般会計)はどうなっているの？

⇒歳入決算総額(約457.2億円)から歳出決算総額(約437.9億円)と、さらに翌年度に繰り越した事業に必要な財源(約1.4億円)を差し引いた実質収支は、約17.9億円の黒字でした。

●財政健全化法で定める決算状況の概要はどうなっているの？

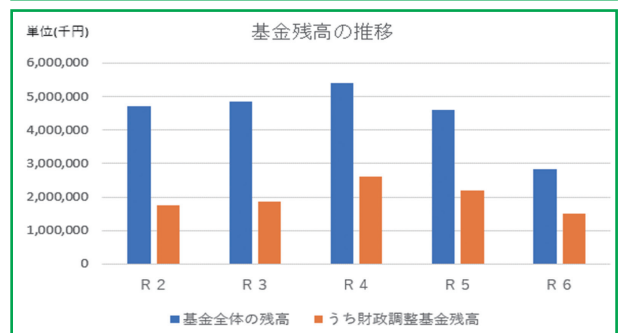
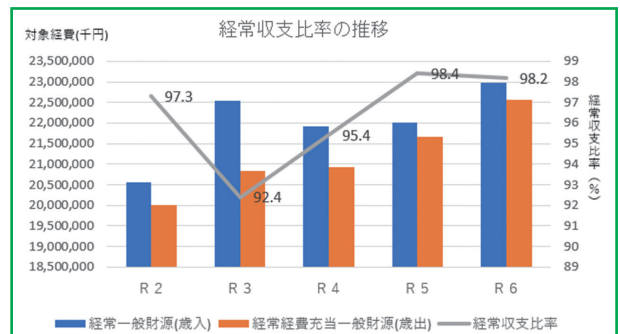
⇒実質公債費比率(毎年の借入金返済の状況)は6.8%、また、将来負担比率(将来負担することとなる地方債などの市全体の債務状況)は45.7%で、いずれも低い水準でした。

●財政構造の弾力性を示す経常収支比率の推移はどうなっているの？

⇒経常収支比率は、対前年度比0.2ポイント改善し98.2%(県内31位)でしたが、市が目標としている数値は達成されています。

●基金(市の貯金)の推移はどうなっているの？

⇒財政調整基金、減債基金など9種類の基金で総額約28億円が確保されています。これら基金残高は、今後のまちづくりに計画的に使われることになります。



～令和6年度の決算の認定を終えて～

令和6年度決算は、当初予算で掲げた「未来につなげる投資・かまがやの街づくりを加速化」として、企業誘致や子育て支援などに積極的に取り組まれたものと評価しています。

また、国が定める健全化判断比率も早期健全化基準をすべてクリアされましたが、財政調整基金年度末残高は、目標値(19億円)に届きませんでしたので、市議会として、持続可能な行財政運営を行うことを求めています。

『ファイターズ鎌ヶ谷スタジアムの移転意向表明』について 一般質問を行いました。(9月19日)

質問 ファイターズ鎌ヶ谷スタジアムの移転意向表明の内容について伺う。

回答 球団からの移転意向表明では、1軍と2軍の距離がありすぎ、チーム運営に支障が出ていることから、現在、本市にある北海道日本ハムファイターズの2軍本拠地について2030年以降をめどに、北海道の札幌市や北広島市など札幌圏を中心とした道内6市を候補地として移転する意向である、とのことでした。

質問 市として球場の跡地利用について伺う。

回答 スタジアムの土地や建物は球団が所有しており、仮に市が取得すると、土地の取得費は約15億円で、その他に建物の取得費などが加わります。

また、球場をそのまま利用すると、維持管理費は、同規模の他市の事例で年間約5～6千万円、さらに大規模改修などは1億円を超えるため、市が直接取得し、取得費や維持管理費等を負担することは大変難しい状況です。

球団との意見交換では、球場の跡地利用は市の意向を確認しつつ、今後、球団と市とで継続して協議することを両方で合意しており、市にとって有効な跡地利用となるよう協議を進めていきます。

質問 今後、市と球団とは連携を強化・継続することで合意しているとのことであるが、具体的にどのような取組を行うのか伺う。

回答 球団と市との長い歴史に鑑み、引き続き連携を深め、その内容を今後協議したり、跡地利用の市の意向を確認しながら、継続して協議することを両方で合意しています。

また、今年は、小学校6年生を対象に「かまがや☆子どもサポートクラブ～エスコンフィールド北海道応援ツアー～」を開催し、試合観戦やボールパークを支える人のお話を聞くなど教育的な観点からも、子どもたちは貴重な体験をしましたが、この取組が球団との連携による「教育旅行」としてより多くの子どもたちの学びの機会になるよう、球団と協議していきます。

質問 芝田市長に、鎌スタに対する今の率直な気持ちを伺う。

回答 移転意向表明に至った最も大きな理由は1軍と2軍の距離がありすぎ、チーム運営に支障が出ているとの説明を受け、やむを得ない部分があるのは理解しますが、今回の移転意向表明を受け、大変残念で寂しく思っています。1軍本拠地が北海道に移転し、現在の状況を20年以上継続していただいた球団には大変感謝しています。

今後、鎌スタの移転が確定した場合でも、引き続き連携を深め、新たな歴史を球団とともにつくっていくことで合意しており、形あるものになるよう取り組んでまいります。

～意見書を提出しました～

鎌ヶ谷市議会は、令和7年9月会議で、子どもたちの健全育成のために、教育環境の整備を一層進める必要があることから、義務教育費国庫負担制度の堅持と来年度に向けての必要な教育予算の確保を求める意見書を全会一致で可決し、「義務教育費国庫負担制度の堅持等に関する意見書」を国に対して提出しました。



勝又まさる — プロフィール —

議会所属委員会など

●都市・市民生活常任委員会 委員
●鎌ヶ谷総合病院運営協議会 委員

●議会運営委員会 委員
●社会福祉協議会 評議員